

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
 健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
 謹白

記

■ 実施日 2021年11月24日(水) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OE25 9	抗カルジオリピンIgG抗体 5G508-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (7日)	2~4	232 ※6	ELISA	12.3以下 (U/mL)	
OE23 4	抗カルジオリピンIgM抗体 5G510-0000-023-023			冷蔵 (14日)				20.8以下 (U/mL)	
OE24 1	抗β ₂ グリアロブリン I IgG抗体 5G515-0000-023-052			冷蔵 (21日)			0.7未満 (U/mL)		
OE22 7	抗β ₂ グリアロブリン I IgM抗体 5G517-0000-023-052			冷蔵 (21日)			17.5以下 (U/mL)		

※6：免疫学的検査判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	項目名	受託中止日
2267 5	抗カルジオリピン抗体 (IgG)	2022年 3月 31日 (木) ご依頼分をもって受託中止
2947 0	抗カルジオリピン抗体 (IgM)	



- 抗カルジオリピンIgG抗体
 - 抗カルジオリピンIgM抗体
 - 抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体
 - 抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体
- 抗リン脂質抗体症候群（APS）の診断補助に有用です。

抗リン脂質抗体症候群（Anti-Phospholipid Syndrome：APS）は、抗リン脂質抗体と関連する自己免疫血栓症あるいは妊娠合併症をきたす疾患です。APSの臨床上の問題点は、この疾患を定義する抗リン脂質抗体の多様性から、どの抗リン脂質抗体を陽性として判断するか統一されていないことでした。

国際血栓止血学会が定めるAPS分類基準（札幌クライテリア・シドニー改変）では、抗リン脂質抗体の検査対象として、ループスアンチコアグラントに加え、抗カルジオリピン抗体および抗 β_2 グリコプロテイン I 抗体のIgG型とIgM型が含まれました。これらの検査対象は自己免疫血栓症と妊娠合併症の発症に良く相関することが知られ、基準に含まれる全ての抗体の検査実施が推奨されています。

本項目は、国際血栓止血学会が定める分類基準に準じた検査であり、APSの診断補助や治療効果、再発の予知などに有用です。

▼疾患との関連

抗リン脂質抗体症候群（APS）
全身性エリテマトーデス（SLE）

▼関連する主な検査項目

抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体
ループスアンチコアグラント

▼検査要項

検査項目名	抗カルジオリピン IgG抗体	抗カルジオリピン IgM抗体	抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体	抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体
項目コード	OE25 9	OE23 4	OE24 1	OE22 7
検体量	血清 0.3 mL			
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ			
保存方法	冷蔵保存してください。			
所要日数	2～4 日			
検査方法	ELISA		CLEIA	
基準値	12.3以下 (U/mL)	20.8以下 (U/mL)	0.7未満 (U/mL)	17.5以下 (U/mL)
報告範囲 (単位)	4.0未満, 4.0～119, 120以上 (U/mL)	2.5未満, 2.5～79.9, 80.0以上 (U/mL)	0.7未満, 0.7～149, 150以上 (U/mL)	0.4未満, 0.4～299, 300以上 (U/mL)
桁数	有効3桁、整数3桁 小数1桁	有効3桁、整数2桁 小数1桁	有効3桁、整数3桁、小数1桁	
検査実施料	232点* (「D014」自己抗体検査「27」抗カルジオリピン抗体の点数を準用して算定)			
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)			
備考				

*検査実施料に関わる留意事項

- ・抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ・抗カルジオリピンIgG抗体、抗カルジオリピンIgM抗体、抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体及び抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体の検査を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。

●参考文献

- 小川 昌起, 他: 医学と薬学 78 (4) : 447～459, 2021. (検査方法参考文献)
阿部 靖矢, 他: 血栓止血誌 29 (3) : 294～306, 2018. (臨床的意義参考文献)